

120人

新シリーズ
～福音となったイエス～

2026・1・11

イエスの復活と昇天

- ・ご自分が生きていることを弟子たちに示された
 - ・「イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。」使徒1:3
- ・弟子たちが見ている前で天に昇られた
 - ・「こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。」9
- ・ご自分が確かにこの世からいなくなつたことを弟子たちに納得させるための演出

昇天する前のイエスの言葉

「そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。『エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものをお待ちなさい。ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは間もなく聖靈による洗礼を受けられるからである。』」4~5

「あなたがたの上に聖靈が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」8

弟子たちへの指示と約束

- エルサレムに留まる
 - イエスに従った人たちの多くはガリラヤ在住だった
 - なりゆきでイエスについてエルサレムに来た
 - 家族を置き去りにし、仕事もなく、お金もないのにエルサレムに留まることは冒険だった
- 「父の約束されたもの」を待つ
 - それは「聖靈による洗礼（バブテスマ）」である
- 「わたしの証人となる」
 - 聖靈が降ると力が与えられ、イエスの「**証人**」として「地の果て」にまで遣わされる

その後の弟子たち

使徒たちは、「オリーブ畠」と呼ばれる山からエルサレムに戻って来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。そのころ、ペトロは兄弟たちの中に立って言った。百二十人ほどの人々が一つになっていた。(1:12-15)

エルサレムに留まった人たち

- オリーブ山でイエスを見送った後、エルサレムに戻って来た
 - そこで「解散」しなかった！
•イエスの言葉に従った
- 「泊まっていた家の上の部屋に上がった」
 - マルコの母マリアの家と考えられる
 - マルコはバルナバ(レビ人)のいとこであったことから、彼もレビ人かあるいは祭司の家系の可能性
 - 120人ほどが入れる広い部屋だった
 - 最後の晚餐が行われた場所とも考えられる



弟子たちが集まった部屋と
言われているが、おそらくは
十字軍以降に造られた建物

集まった120人

- ・イスカリオテのユダを除く11人の「使徒」
 - ・「ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダ」
- ・婦人たち・イエスの母と兄弟
 - ・「婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たち」
 - ・「マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たち」ルカ24:10
 - ・イエスの兄弟：ヤコブ・ユダ
- ・その他の弟子たち
 - ・クレオパ・ヨセフ・マティア…

集まつた120人

- ・イスカリオテのユダを除く11人の「使徒」
 - ・「ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、パウロ、マテウス、マクシミニアヌ、アントニヌス、マクシミニアヌ、熱心党員のマクシミニアヌ」
 - ・婦人
 - ・「婦人たち」
 - ・「マリマ、マリヤマグダラ、マリヤマガダラ、マリヤマガダラ、そして一緒にいた他の婦人たち」ルカ24:10
 - ・イエスの兄弟: ヤコブ・ユダ
 - ・その他の弟子たち
 - ・クレオパ・ヨセフ・マティア…

集まってどうしていたか

- 「心を合わせて」

- 原語では“ホモスマドン”=「気持ちを同一にする」
- 使徒言行録で10回使われる大切な言葉
- イエスと共にいる間はけんかしていたのに…

- 「熱心に祈っていた」

- 「ひたすら祈りをしていた」(口語)「祈りに専念していた」(新改訳) 原語では“絶えず”
- 祈り続けてイエスの約束(聖霊による洗礼)を待った
- イエスと共にいるときには祈る必要はなかった！

使徒を選ぶ(1:16~26)

- ・イスカリオテのユダの行為は旧約聖書に預言されていた、とペトロが告げる
 - ・「詩編にはこう書いてあります。『その住まいは荒れ果てよ、そこに住む者はいなくなれ。』また、『その務めは、ほかの人が引き受けるがよい。』」20
- ・旧約聖書とイエスの出来事を結びつける
 - ・「そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。」ルカ24:27
 - ・イエスは「約束されたメシア」であることが分かった
 - ・イエスを旧約聖書で説明する作業が始まった

選ばれた「ほかの人」

・選ばれる資格

・「ヨハネの洗礼のときから始まって、わたしたちを離れて天に上げられた日まで、いつも一緒にいた者の中からだれか一人が、わたしたちに加わって、主の復活の証人になるべきです。」21-22

・12使徒以外のイエスと共にいた弟子の中から

・12人目の使徒

・「『すべての人の心をご存じである主よ、この二人のうちのどちらをお選びになったかを、お示しください…使徒としてのこの任務を継がせるためです。』二人のことでくじを引くと、マティアに当たった」24

空白の10日間に起こった変化

- イエスの言葉に従った

- 復活のイエスに出会うまでは蔑ろにしていたが…

- 心を一つにした

- イエスと共にいる間はバラバラだったが…

- 集まって祈った

- イエスと共にいる間は祈る必要はなかったが…

- 旧約聖書によってイエスを理解する作業が始まった

- 答え合わせが始まった！

教会の原型